

【専門分野】

科目名	看護研究演習	講師 名	教育主事	学 年	3	履 修 期	第1学期
単 位	1単位						
時間数	30時間						
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり。						
授業概要	実践した看護を講義で学習した方法を用いて、論文にまとめ、看護観の育成をはかる。						
授業科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨地実習で一人の患者に対して行った看護をケーススタディとしてまとめることにより、看護観を深めることができる。 2. 研究プロセスを通して論文作成時の留意点や研究的態度が理解できる。 3. 口頭発表をすることにより、効果的な発表の仕方が理解できる。 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1回：看護研究演習の概要（オリエンテーション） ケーススタディの構成、目的、テーマの選定（概念化シート、テーマの絞り込み） 2回：ケーススタディの研究計画書 研究計画書の書き方、文献検索・文献検討 3回：研究計画書の作成 4回：研究報告書の書き方 5回：論文の作成時の注意点、抄録の作成 6回：口頭発表の準備、補助資料の作成 7回：研究発表の実際（研究発表、研究論文の評価、質疑応答） 8回：看護研究発表会（発表、質疑応答、講評） 9回：看護研究発表会（発表、質疑応答、講評） 10回：看護研究発表会（発表、質疑応答、講評） 11回：看護研究発表会（発表、質疑応答、講評） 12回：看護研究発表会（発表、質疑応答、講評） 13回：看護研究発表会（発表、質疑応答、講評） 14回：看護研究発表会（発表、質疑応答、講評） 15回：看護研究発表会（発表、質疑応答、講評） 						講義 講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習
評価方法	論文の内容・構成、研究への取り組み過程・取り組み姿勢、発表について、看護研究評価表を用いて評価する						
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 山口瑞穂子：ひとりで学べる看護研究，照林社。 2. 松本孚他：看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方，照林社。 						
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高橋百合子：看護学生のためのケース・スタディ，第3版，メヂカルフレンド社。 2. 竹内登美子：臨床看護研究 サクセスマニュアル，株式会社アンファミエ。 						
学生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習で受け持った事例を大切にしてください。その中で、特に関心・疑問を持った看護について、理論や文献を活用・思考してまとめていきましょう。そして、自分の看護職としての看護観を深めましょう。 2. 指導教員と密に連絡を取り合い、指導・助言を受けながら計画的にすすめましょう。 3. 初期の計画的な取り組みが大切です。しっかり、文献検討を行ってテーマを絞り込み、動機から目的に繋げる過程が重要です。 4. あらかじめ、先行研究や書籍、雑誌など、文献検索をして、多くの文献を検討し、テーマに関する情報や知見を集めておく必要があります。 <p>【関連科目】 看護研究</p>						